



永く住み続けられる家

相羽建設株式会社

20160801

# 会社概要

- <会社名> 相羽建設株式会社
- <住所> 〒189-0014 東京都東村山市本町2-22-11  
電話番号 042-395-4181 Eメール mail@aibaeco.co.jp  
Fax 042-393-9838 URL <http://www.aibaeco.co.jp>
- <代表取締役社長> 相羽 健太郎
- <創設年月> 1979年 1月
- <営業登録> 建設業登録(東京都知事 許可(特-26)第132432号)  
その他 (宅地建物取引業者 東京都知事(4)第79746号)  
設計事務所登録(東京都知事登録 第14012号)
- <社員数> 30名(設計員数5名、監督員数5名 メンテナンス・リフォーム監督4名)
- <所属団体> (株)OMソーラー(平成4年入会)・(財)住宅保証機構・  
JIO日本住宅保証機構・地球の会etc
- <モデルルーム> 東村山久米川町3棟・東村山多摩湖町1棟
- <売上高 内訳> 売上高15.4億  
新築11.6億(38棟) リフォーム2.8億 不動産・その他1億
- <施設建築> 別紙参照

# 会社概要

## <近年受賞履歴＋事業採択>

- 2006年 9坪の家 エコビルド賞受賞  
東京都「住宅促進プロジェクト」に採択され  
実証実験グループにて25棟を建設
- 2007年 倫理17000ライセンス認定 登録番号第107号  
木造ドミノ住宅 グッドデザイン賞  
木造ドミノ住宅 地域住宅計画賞  
木造ドミノ住宅 エコビルド大賞
- 2010年度 OMソーラーの家着工戸数 日本No.1
- 2012年 東京都「長寿命環境配慮住宅事業」(府中市)に採択  
16棟を建設
- 2015年 「大工の手」 JID賞インテリア・プロダクト部門賞  
「大工の手」 ウッドデザイン賞 奨励賞

## 経営理念

つながる人すべての  
暮らしを豊かにする

経営ビジョン

仲間とわくわく  
やっぱりAIBAは面白い

# 地域工務店としての強み

- 創業者が大工出身であり「ものづくり」や「職人さん」を大事にする工務店で、自社加工場を有しています。
- スタッフや職人さんの殆どは多摩地域の出身・居住です。
- 「木造」住宅や「木造」施設の新築・リフォーム工事を中心に、ワンストップで住環境に関わる事業を行っています。
- 地域とお客様と『つながる』ことを大切にしています。  
(地域活動や地域産材利用・車で1時間のエリア内で施工)



写真:創業時の様子

# 地域工務店としての強み

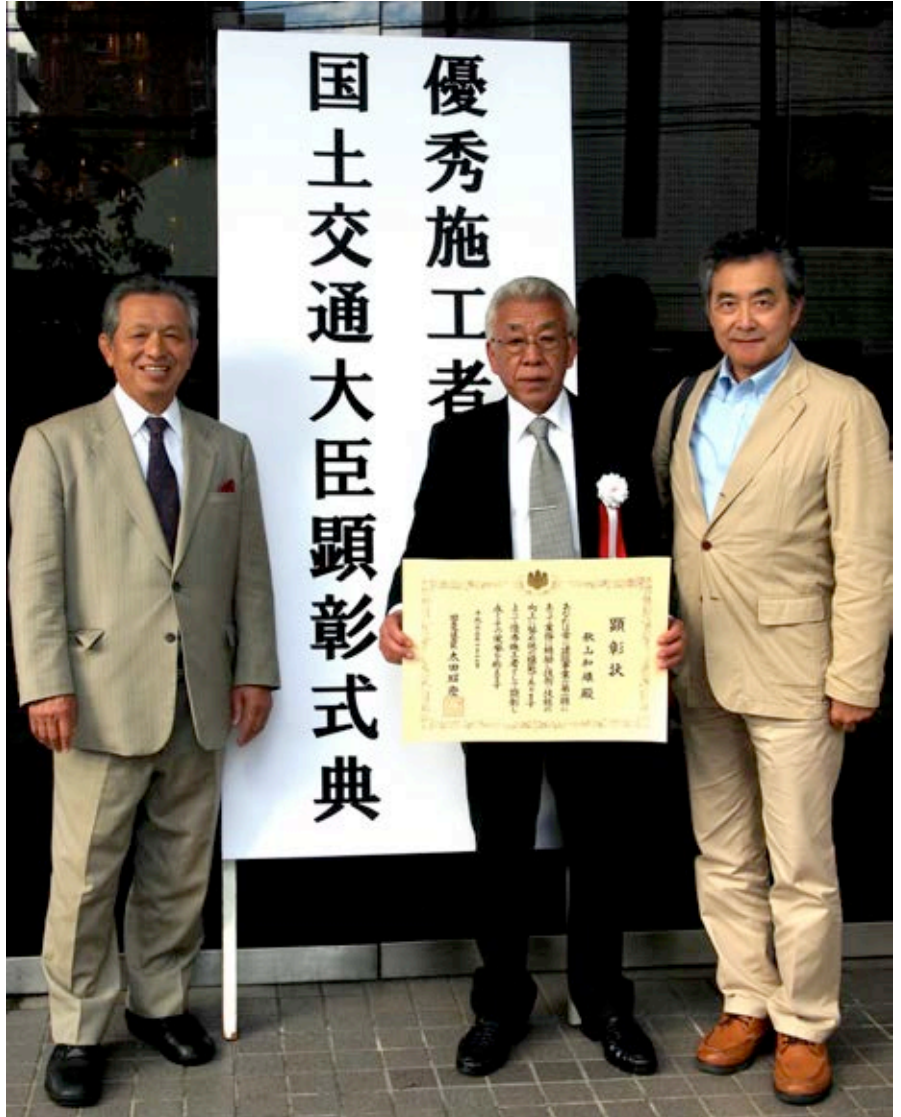
- **環境共生型木造建築**を得意としています。
- 行政との取り組みの中で時代の要請に則した住まいを提供  
(東京都定期借地事業・長期優良事業先導的モデル・  
長寿命環境配慮住宅・性能評価制度・地域産材の活etc)
- 建築屋らしい分譲事業として「環境共生の**街づくり**」に取り組んでいます。
- 行政や設計者と協働した仕事も多く、その施工技量は多くの方からの信頼をいただいています。
- 創業以来、赤字計上することなく健全経営を継続しています。

# 「たしかかな家づくり」を支える職人たち





# 技術を持ったマイスター・職人の育成



加工場

# AIBA-WORKS

「ものづくりの拠点」



加工場

# AIBA-WORKS

「ものづくりの拠点」



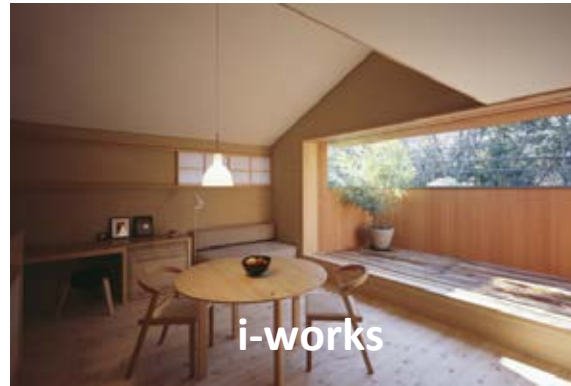
どんなコトを

# 「永く住み続けられる住まい」



1. 五感で感じることができる住まい
2. 可変性を持った住まい
3. 構造的に丈夫な住まい
4. 自然でパッシブな住まい
5. 「住み続けたい」と思える住まい

# 「豊かな暮らし」を総合的に提供



# 新 築

新築①

# 木造ドミノ住宅

スケルトン&インフィル住宅

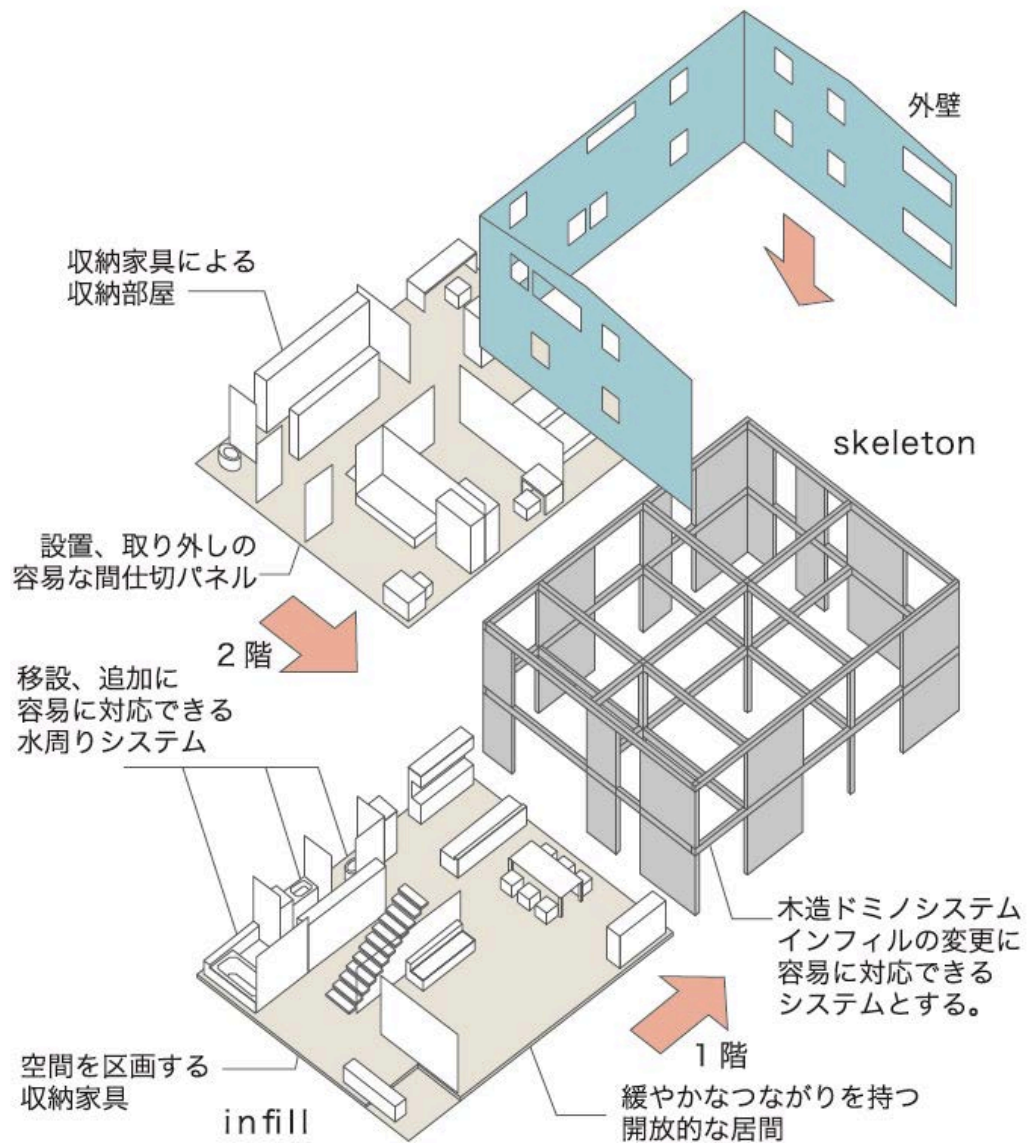




# 新築①

# 木造ドミノ住宅

構造を整理して高性能化とコストダウン



新築②

# i-works

良質で美しい生活道具のような住まい



新築②

# i-works

建築家との協業で高品質な建物を「標準化」する



建築家・伊礼智さんの  
設計手法を基に、  
お客様のライフスタイルに  
合わせて住まいを提案。

- ・シンプルで上質
- ・内と外をゆるやかにつなぐ
- ・目に見えないものをデザインする

それらを大切にしながら、  
心地よい空間を  
実現していく。

新築③

# 建築家とたてる家

共感できる建築家とともに





じっくりと時間をかけて、自分たちの生活にぴったりと合う住まいを建築家とつくりあげる。相羽建設が長年一緒に仕事をし、双方で信頼を得られている建築家をご紹介します。お客様が共感できる建築家と出会い、素敵な住まいをかたちにするサポートをさせていただきます。

- 野沢正光さん  
（野沢正光建築工房）
- 田中敏溥さん  
（田中敏溥建築設計事務所）
- 坂本一成さん（坂本一成研究室）
- 伊礼智さん（伊礼智設計室）
- 小泉誠さん（Koizumi Studio）
- 島田貴史さん（しまだ設計室）

リフォーム・リノベーション

改修

# リフォーム

モデルハウスを大規模リノベーション



After



Before<sup>23</sup>

デザイン:夏水組 施工:相羽建設 DIY:女性スタッフ

改修

# 資産を受け継ぐ

坂本一成氏「散田の家」1969年竣工を  
40数年の時を経てリノベーション。





定期点検  
メンテナンス

# 家守りの会

専属スタッフが大切な家を守っていく





# 木造施設建築

—木の家をつくる職人が地域の施設建築を手がける—

木造施設

# 老後ケア施設

老人介護施設「ベストライフ杉並」 2014年竣工



木造施設

# 老後ケア施設

老人介護施設「ベストライフ杉並」 2014年竣工



木造施設

# 地域の保育園

保育施設「まつぼっくり保育園」 2015年竣工



木造施設

# 地域の保育園

保育施設「まつぼっくり保育園」 2015年竣工



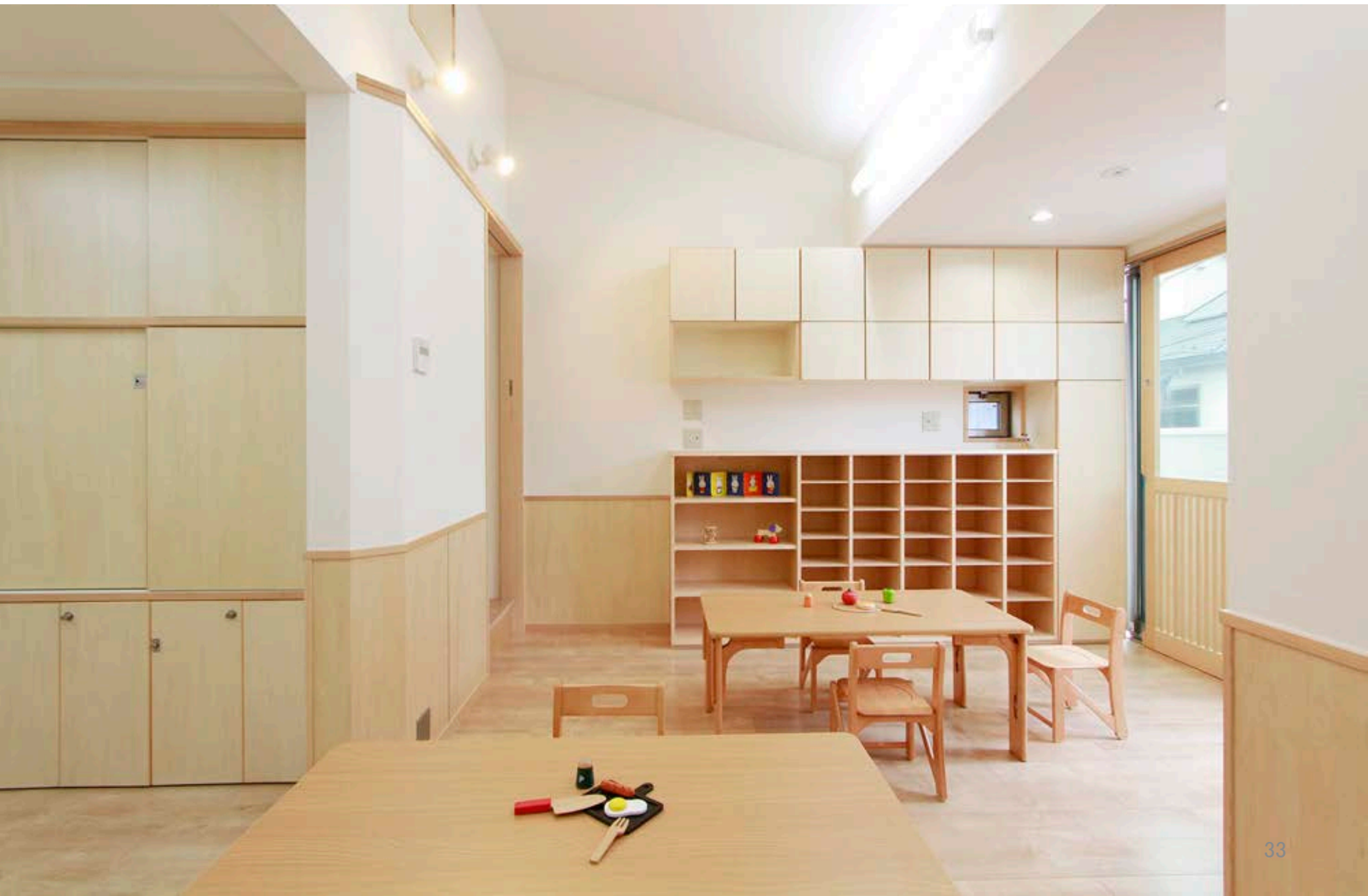
木造施設

# 地域の保育園

保育施設「まつぼっくり保育園」 2015年竣工







木造施設

# 地域の保育園

保育施設「いずみ愛児園」 2016年竣工



木造施設

# 地域の幼稚園

写真: 武蔵野市 けやき幼稚園



木造施設

# 研修施設

八王子セミナーハウス「食堂棟」 2016年工事中



# 分譲事業「まちづくり」

まちづくり

# ソーラータウン

心地よい街並みをデザインする

写真：むさしのタウン（東京都との協働事業）



まちづくり

# ソーラータウン

コミュニティをデザインする



写真：ソーラータウン府中

東京都のまちづくり事業「長寿命環境配慮住宅モデル事業」に採択され進められた「ソーラータウン府中」。家にも街にも「永く快適に住み続けられる」工夫がなされ、園路を中心に建ち並ぶ16戸に暮らす人々のコミュニティが育まれています。

資産活用

# 定期借地

長期の土地活用で地主・住まい手双方にメリットを





資産活用

# 定期借地

長期の土地活用で地主・住まい手双方にメリットを



これからは  
太陽で床暖房。



GOOD DESIGN AWARD  
2007年度受賞  
木造ドミノ住宅で受賞



GOOD DESIGN AWARD  
2010年度受賞  
空気集熱式ソーラーシステム  
[OMタッチパネルリモコン] で受賞

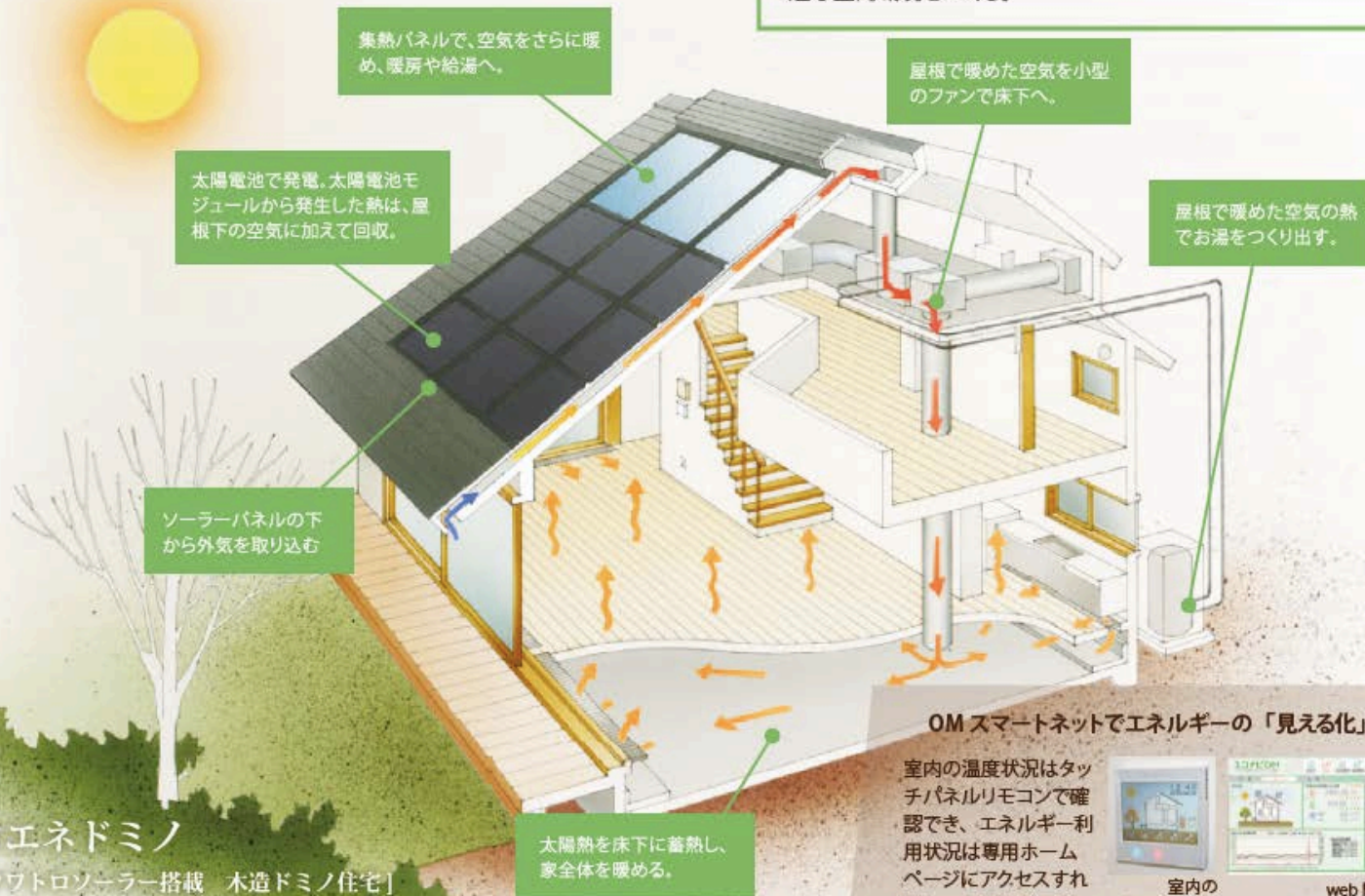


GOOD DESIGN AWARD  
2013年度受賞  
OMクワトロソーラーで受賞

- LCCM (ライフサイクル・コスト・マイナス) 住宅認定★★★★★ (2012/9 東京都初)  
※全国で35棟の認定住宅の内、16棟はこのソーラータウン府中の建物。

## OMクワトロソーラー

太陽熱と太陽光のエネルギーを利用し、「暖房」「発電」「給湯」「換気」の4つの機能を果たすハイブリッドソーラーシステム。屋根に集まった熱を利用して、空気循環で家中を暖めたり、お湯をつくるなどCO<sub>2</sub>を排出しない自然エネルギーを使って、快適な室内環境をつくる。



ゼロエネドミノ

[OMクワトロソーラー搭載 木造ドミノ住宅]

### OMスマートネットでエネルギーの「見える化」

室内の温度状況はタッチパネルリモコンで確認でき、エネルギー利用状況は専用ホームページにアクセスすればいつでも閲覧可能。



室内の  
タッチパネル



web 閲覧

地域とつながる「場」

暮らしを楽しむ場

# あいばこ

木の家の暮らしを体感できる「まちのえき」  
設計・デザイン:小泉誠+伊礼智



暮らしを楽しむ場

# あいばこ

木の家の暮らしを体感できる「まちのえき」  
設計・デザイン:小泉誠+伊礼智



暮らしを楽しむ場

# あいばこ

木の家の暮らしを体感できる「まちのえき」  
設計・デザイン:小泉誠+伊礼智



暮らしを楽しむ場

# あいばこ

木の家の暮らしを体感できる「まちのえき」  
設計・デザイン:小泉誠+伊礼智



暮らしを楽しむ場

# あいばこ

地域の人が集い「つかってもらう」場所に……





# 「あいはこ」で起こったこと

- 単なるお店ではなく「つかってもらえる場所」としたことで、地域に開かれた拠点となった
- 新規客との出会いや紹介受注が生まれた
- 地域のお店や先生や作家さんなど、発信力のある人やお店とのつながりがたくさんできた。
- 工務店が地域コミュニティのハブとなれる可能性を実感できた
- 自社メディア「ainoha」とともに「場づくり」と「広報」の新たな可能性を感じている



小泉誠さんと  
伊礼智さん、  
地域でつながる  
人たちの  
共同プロジェクト

「まちの交差点」



「まちの交差点」

# つむじ

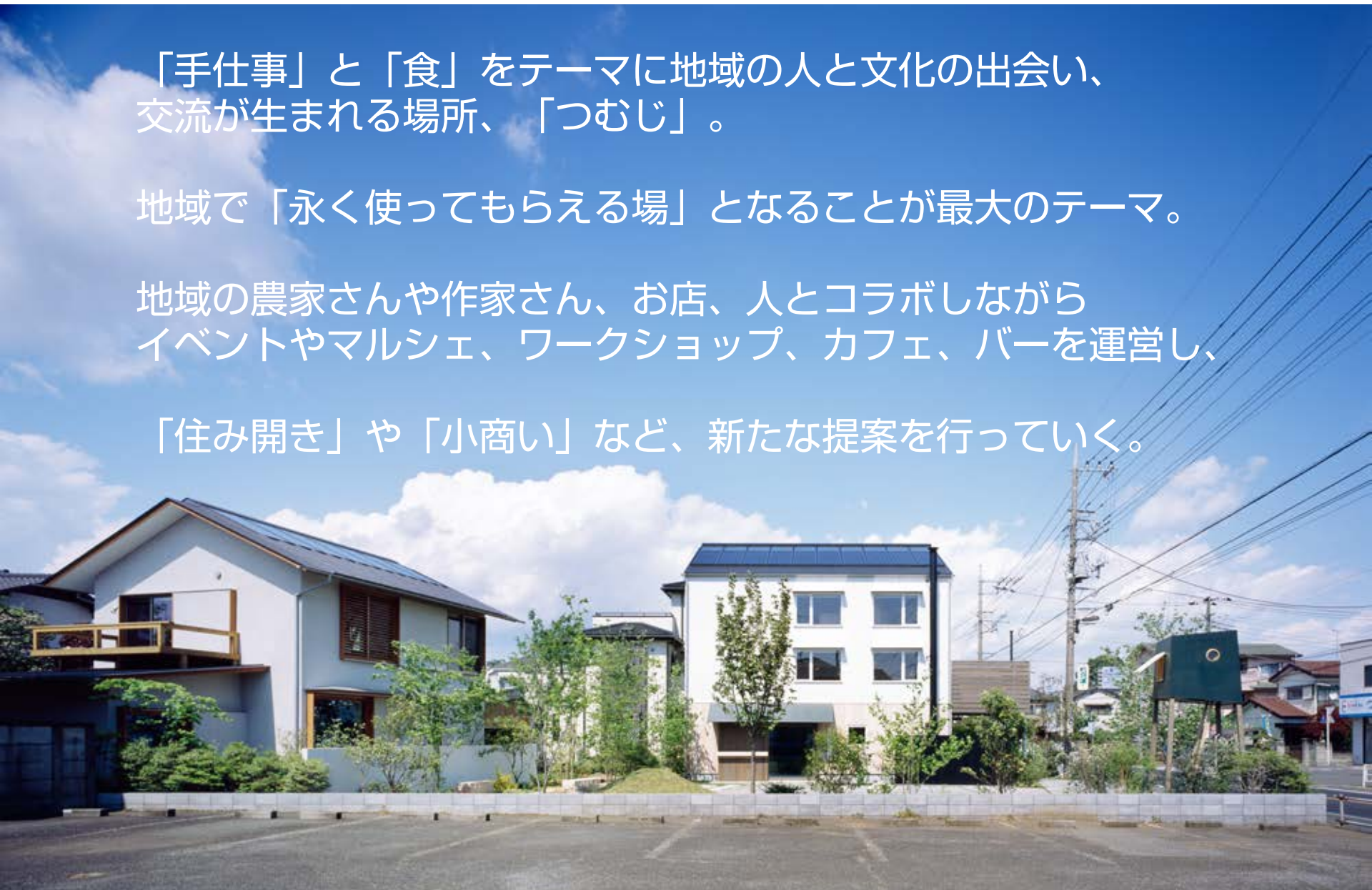
これまでの取り組みを発展。「点」から「面」へ

「手仕事」と「食」をテーマに地域の人と文化の出会い、  
交流が生まれる場所、「つむじ」。

地域で「永く使ってもらえる場」となることが最大のテーマ。

地域の農家さんや作家さん、お店、人とコラボしながら  
イベントやマルシェ、ワークショップ、カフェ、バーを運営し、

「住み開き」や「小商い」など、新たな提案を行っていく。



「まちの交差点」

# つむじ

「i-works2015」建築家 伊礼智さん設計  
宿泊して暮らしを体感できるモデルハウス



「まちの交差点」

# つむじ

「i-works2015」建築家 伊礼智さん設計  
宿泊して暮らしを体感できるモデルハウス



「まちの交差点」

# つむじ

小さな居場所「舎庫(しゃこ)」  
家具デザイナー小泉誠さん設計



「まちの交差点」

# つむじ

小さな居場所「舎庫(しゃこ)」  
家具デザイナー小泉誠さん設計



「まちの交差点」

# つむじ

『3階建木造ドミノ住宅』さまざまなイベントやセミナーを開催しながら住み開きや小商いを提案。





「まちの交差点」

# つむじ

『3階建木造ドミノ住宅』さまざまなイベントやセミナーを開催しながら住み開きや小商いを提案。



「まちの交差点」

# つむじ

『3階建木造ドミノ住宅』さまざまなイベントやセミナーを開催しながら住み開きや小商いを提案。



「まちの交差点」

# つむじ

『巣箱』小泉誠さん設計。「つむじ」のランドマークであり、内部に登ると二人が座れる家具空間。



「まちの交差点」

# つむじ

『3階建木造ドミノ住宅』さまざまなイベントやセミナーを開催しながら住み開きや小商いを提案。





## 場づくりと連動して 新たな「地域メディア」を創刊

### ＜メディアの目的＞

- ・手しごとやものづくりへの  
関心を高める
- ・地域リテラシーの向上
- ・読み手の**価値観**を変える
- ・**エリア価値の向上**
- ・「手しごとの**応援者**＝仲間」を  
増やす（お店や作家さん、民間企業、行  
政、メディア、一般ユーザー、工務店.....）

## 「大工の手」

—木の家を建てる職人が誠実な素材を用い家具をつくる活動—

# 大工の手

daiku+note

# 大工の手

## 1 「大工の手」とは

「大工の手」とは、木の家を建てた大工が誠実な素材を使い、住み手のために家具を製作するプロジェクトです。家と一緒に永く愛着をもって使ってもらうことを願い、工務店・大工・デザイナーが協力して出来た、家と家具と心を繋げる新しい家具のかたちです。そして「大工の手」は、手仕事を広める運動でもあります。大工は木をつかいこなす手技をもっていますが、その手を活かす環境がここ数年で極端に減り、大工のなり手も少ない。身近な家具をつくることで、その技を活かして誇りを生む仕事にしてほしい。そんな思いも「大工の手」の目的のひとつです。「大工の手」は誠実なもののづくりを目指し共感するプロが集まり、活動しています。職人は心意気を持って誠実な仕事を、デザイナーは住み手・作り手にも魅力のあるデザインを、工務店はそれぞれが納得できる価格で、顔の見える関係を結んだ住み手に手渡す。このプロセスすべてをできる限り誠実に、知恵としくみを共有し、職人と手仕事の復権を目指しています。そして価値観を共有出来る方ならどなたでも参加する事が出来ます。「大工の手」はボランティアではありません。メンバーからの会費で運営しています。それだけではなく、お客様から注文を受け職人の手を動かすことで工務店は売上げをあげ、そのなかからデザイナーにフィーを払います。大した利益は生みませんが、誰もが、がんばれば損をしない仕組みで、きちんと続けられる仕組みです。この運動が広がることで、多様な生活道具が生まれ、多くの住み手に届き、職人と手仕事が元気になるます。まずは大工が家具をつくる「大工の手」から。「左官の手」「経師の手」…いろんな「手」へ。大工・工務店が工房となる新たなデザイン×ものづくりのプラットフォームです。



## 2 素材

素材は、家づくりで余った端材、解体時の古材、製造からリサイクルまで考えられた材料を「誠実な素材」とし、用いる事をコンセプトとしています。

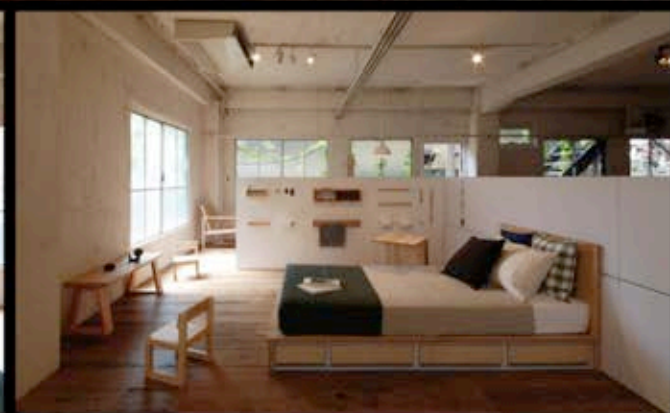


# 3 製品

「大工の手」を伝える展覧会を開催。  
展覧会の為に、新たに 30 を超える製品をデザインした。



大工が作った針葉樹の家具が、  
JIS S1203 家具—いす及びスツール—強度と耐久性の試験に合格



# 4 事例

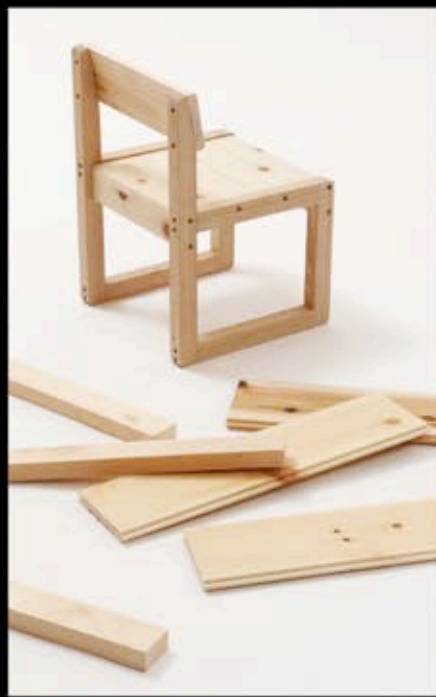
すでに愛用されている大工の手の事例。



# 5

## 活動

大工と住み手が一緒に家具をつくる  
気持ちをつなげるプロジェクトも進行中。





腕のみせどころ

「大工の手」の家具には大工がその技をふるう「腕のみせどころ」が施される。木造建築の技術や職人の技量が惜しみなく発揮される。

●Hashira table 丸

古材を脚に用いたテーブル。単なるノスタルジーで古材を使うのではなく、あくまで古材という素材の持ち味を素直に饒なく活かすことを目指した。

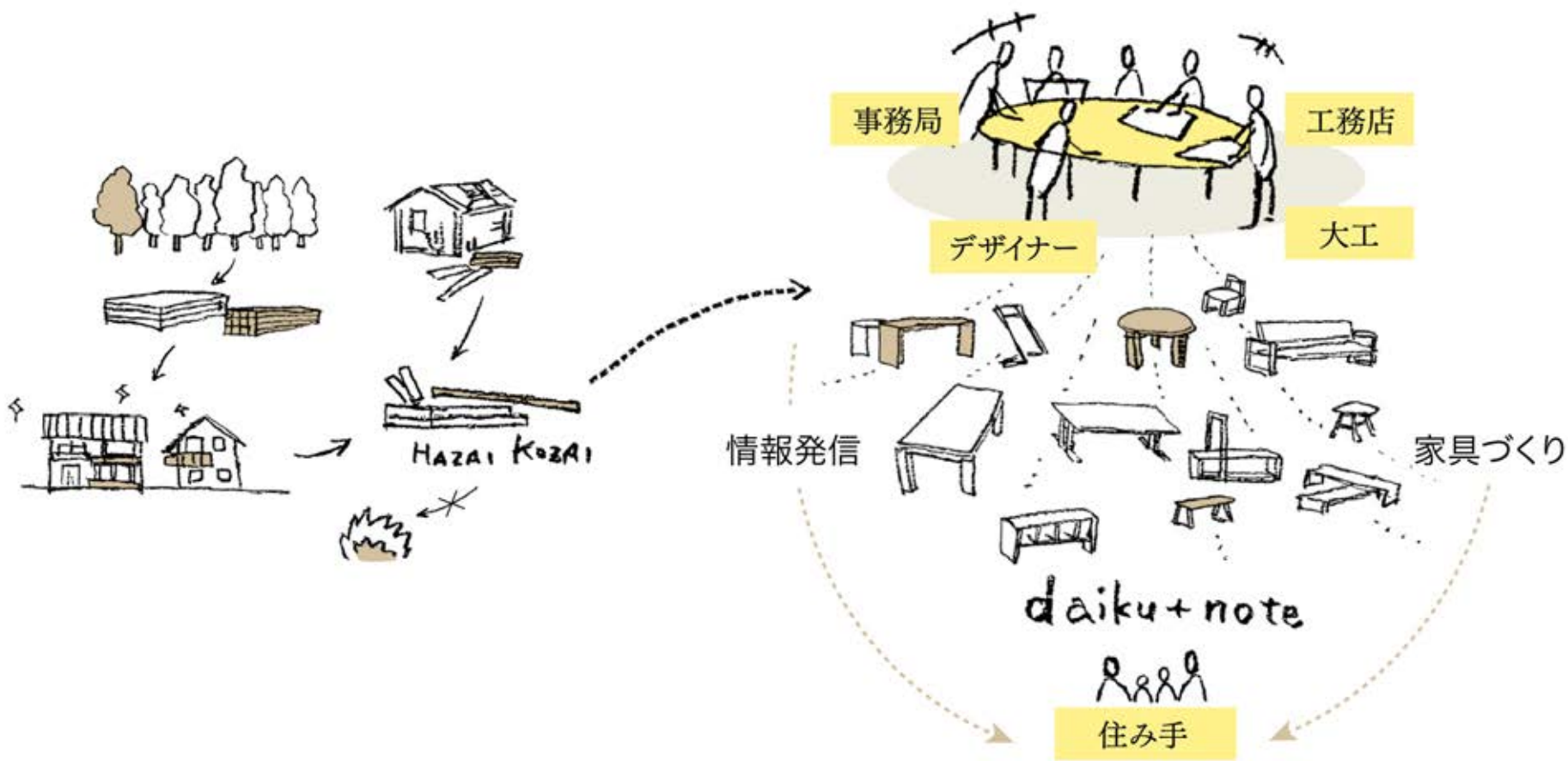
「時間」をつなぐ  
「想い」をこめる  
小泉誠のデザイン ×  
大工の技

プロジェクトを象徴するテーブル

「Hashira table 丸」

「大工の手」の家具の内、はじめに小泉誠がデザインしたのがこのテーブル。解体された住宅に使われていた古材はテーブルの脚として生まれ変わり、材についた傷跡や痕跡を「時間のデザイン」としてそのまま活かしている。大工ならではの材木の接合技術「ほぞ接ぎ」を用い、職人たちの技術や想いが込められた「誠実な家具」が完成した。





大工とデザイナー、工務店が誠実な「手仕事」で協業し、住まい手が「永く使い続けたい」と感じられるものづくりを行う。

「体験・体感イベント」  
— 地域の人とものづくり、物語をつなげるメディア —

イベント

# 春の「こども工務店」

地域の子ども達100人が家づくりの職人さんに教わりながら12の手仕事を体験



イベント

# 春の「こども工務店」

地域の子ども達100人が家づくりの職人さんに教わりながら12の手仕事を体験





- 主催は職人さん。企画も自分たちで！  
こども工務店社長は工事部監督
- 地域の子ども達100人が12の職種を体験
- 相羽建設の社名は出さず「こども工務店」で発信
- はじめは街にポスターを貼っていき、その後  
ainohaやWebでも発信

イベント

# 夏の「手しごとフェスタ」

木という素材の良さ、ものづくりの  
楽しさを伝える。木工教室から進化



イベント

# 夏の「手しごとフェスタ」

木という素材の良さ、ものづくりの  
楽しさを伝える。木工教室から進化



イベント

# 夏の「手しごとフェスタ」

木という素材の良さ、ものづくりの  
楽しさを伝える。木工教室から進化



- 相羽建設の全部署で協力して企画・開催
- 1日約300人以上が来場して手しごとを体験
- 「夏休み木工教室」から進化
- 街にポスターを貼り、ainohaやWebでも発信
- OB・新規ともに幅広く来場

イベント

# 年末の「餅つき」

つくり手と住まい手が顔を合わせて一年の無事を祝い感謝の想いを伝える



イベント

# 年末の「餅つき」

つくり手と住まい手が顔を合わせて一年の無事を祝い感謝の想いを伝える



私たち相羽建設は、

「永く暮らし続けられる家づくり」を通して  
たくさんの仲間や地域の人とつながり、  
暮らしの魅力、手仕事の楽しさを伝え続けます。

**「つながる人全ての暮らしを豊かにする」**



# 仲間とワクワクやっぱりAIBAは面白い！





2016年7月31日 「手しごとフェスタ」にてスタッフで記念撮影

ご静聴、ありがとうございました！